

設 備 工 事 の 内 容 等

工事の種類							
工事従事者 氏 名		氏 名	設備士免状番号	氏 名	設備士免状番号		
完成検査 実施者名							
気密試験 結 果		供給管等内容積		圧 力		気密試験保持時間	
		リットル		kPa		分	
貯 蔵 設 備	火気の種類及び距離		種 類			距 離	m
	腐食防止措置						
	転落、転倒防止措置		鎖 ・ ロープ ・ その他 ()				
	40℃以下対策		屋根 ・ 遮へい板 ・ その他 ()				
調整器メーカー・型式							
供 給 管	高圧部 材質						
	中圧部 材質						
	低圧部 材質		埋設管			露出管	
気化装置		有・無	ガス発生能力		kW		
安 全 装 置		1					
		2					
		3					
		4					
		5					
		6					

供給設備の技術上の基準

(容器（バルク容器を含む。）による貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満のものに限る。)

1. 保安距離	① 第1種保安距離（法定 m・障壁設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称 ② 第2種保安距離（法定 m・障壁設置 m） 実際距離 m 保安物件の名称
2. 障壁	① 障壁の構造 材料 寸法（高さ） cm（厚さ） cm ② 扉の構造 材料（厚さ） cm ③ 扉の補強 等辺山形鋼（枠） mm× mm（内） mm× mm 間隔（縦） cm（横） cm
3. 火気等との距離	① 火気等の種類 火気等との距離 m ② 火気距離 障壁（材料） 高さ m
4. 滞留防止	① 貯蔵設備面積 m^2 法定換気口面積 cm^2 ② 実際の換気口面積 cm^2
5. さく、へい等の設置	さく、へい等の種類
6. 警戒標	① 掲示位置 ② 表示内容
7. 消火設備	① 粉末消火器 ② その他
8. 軽量の屋根等	① 屋根の場合 その材料 ② 遮へい板の場合 その材料
9. 転倒防止等の措置	
10. 腐食防止措置	

バルク供給設備の技術上の基準

(バルク貯槽による貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のものに限る。)

1. 貯槽の設備状況	
2. 貯槽の適合性	
3. 保安距離	① 第1種保安距離 (法定 m 構造壁等又は埋設設置 m) 実際距離 m 保安物件の名称 ② 第2種保安距離 (法定 m 構造壁等又は埋設設置 m) 実際距離 m 保安物件の名称
4. 構造壁等	壁の構造 材料 寸法 (高さ) m (幅) m
5. 貯槽の表示	
6. 腐食防止措置	
7. 転倒防止等の措置	
8. プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	
9. 火気等との距離	① 火気等の種類 火気等との距離 m ② 火気距離が2m以内 防火壁等の設置の有無

緊急時連絡先

	名 称	電話番号	住 所
昼			
夜			

消 火 器

設置場所（容器置場平面図の通り）	消火能力（A-4,B-10以上）	数

貯蔵設備の写真

(消火器を写し込んだもの)

液化石油ガス設備士免状所有者名簿

氏 名	住 所	免状番号

(注) 液化石油ガス設備士免状 (受講記録を含む) の写しを添付すること。

気密試験用器具一覧表

メーカー名	型 式	台 (個) 数

(注) 自記圧力計等のカタログを添付すること。